

令和7年11月13日  
福 井 県 教 育 庁

## 令和7年度 福井県総合教育会議 結果概要

### ◆ 主な意見

#### ○教育委員

- ・ 先生が専門的な授業を個々に対応しながら企業とも連携するというのは、先生の負担が大きい。その役割を担う担当者がいたほうが、先生は自身の本来の仕事に集中できる。
- ・ 机上での授業が合わない子で、プロ人材高校のような実務的な授業が合う子が多いのではないかと。そのような子に門戸を広げる仕組みを作れないか。(山本委員)
- ・ 機器や施設が古いというところが気になる。計画的に新しいものに変えていけるとよい。
- ・ 企業の採用で技術を持った生徒を望む声が多いと聞く。企業が採用を望んでいる学科の生徒について、定員や先生を増やすとよいのではないかと。
- ・ 技術を磨くことだけではなく人間力や会話力、企画力というのがとても大切。自分の思いを喋るということを授業のなかで学習しているとよい。
- ・ それぞれのプロ人材高校で様々な特徴を持ったコースがあれば、県内だけでなく、県外からも福井のこの高校で勉強がしたいという方が出てくるかもしれない。
- ・ コンソーシアムは素晴らしい取り組み。県内すべての11のプロ人材高校でそのような仕組みがあると良い。
- ・ 設備にお金がかかるという話があったが、企業の中で使っている最新の設備等を上手に活用することで、生徒の学びがより良いものになる。企業側も生徒が社会人になった時に、最先端の技術を知っている人材を採用できるということでお互いにメリットがある。
- ・ 企業側は高校生の採用を増やしたいため、もっと高校に協力したいと思っているが、企業との連携は先生の負担が大きい。企業に普段から月に1回でも学校に来てもらい、非常勤講師のような形で企業とのパイプ役をやれると、先生の負担を減らしながら連携ができるのではないかと。
- ・ 優秀な子がトヨタに就職していると聞き驚いたが、優秀な子こそ福井に残ってほしいという気持ちがある。優秀な子が県内大学に進学する際に、福井県企業への

就職を条件として、返さないで良い奨学金を渡し、そういう子たちがさらに知識や技術を磨いて、福井県の企業に就職するという流れを検討いただけたらと思う。

#### ○その他出席者（各校校長等）

- ・教員が忙しいのは事実。地域や企業との連携の役割を地域の方に担っていただくことが必要。すでに様々な形でプロ人材学校を応援してくださっており、実質的なアウトソーシング化が進んできている。
- ・先生方には、生徒たちにどうアウトプットするのかということを授業の中で徹底的にやってほしいとお願いしている。将来的に生徒が世の中に出て、チームとして事業を進めていくときに大事なことだと思っている。
- ・企業との連携はどんどん進めていきたい。すでに、企業の方による特別授業の実施や、実習用工具の提供を受けているほか、学校祭ではコンソーシアム企業ブースとして、体験ブースを設けるなど様々な取組をしている。（清水校長）
- ・設備が古いという話があったが、毎年予算措置の上更新を行っている。今後も各学校の状況を見ながら更新等を進めていきたい。
- ・施設設備は確かに古いものもあるが、企業と相談しながら入れた最新式の設備もある。進路相談会でも立派な機械があることに驚かれる保護者もいらっしゃる。
- ・実際に買うと数千万円する３Ｄプリンターを、企業の技術者に学校に来てもらい、生徒に３Ｄプリンターの作り方を教えてもらうということも行っている。プロ人材高校の子は福井に残るので、企業には引き続き温かい支援をお願いしたい。
- ・課題研究として、企業からテーマをもらい、そのテーマの課題解決をそれぞれがお互いに考えるということをやっている。１学期が終わり生徒にアンケートを取ったところ、身についたのは対話力、足りないのは専門性だという意見があった。生徒が自分の考えを伝えるため、専門的な勉強が必要だと気がついたということで、とても良い取り組みだと感じている。

#### ○知事総括

- ・もっとお金かけないといけないということがよく分かった。全部学校の中だけで完結しろという発想ではなく、学校を活かすために、お金もそうだが、社会として手間もかけていく、そういうことがとても大事だと感じた。
- ・企業は実はもっと人が欲しいからもっと手を出したい、来てもらえるような素地

を作りたいっていうことはあると思う。コーディネートするところをもっと強化する必要がある。コンソーシアムのやり方もあるが、そういう仕組みを作るところも含め、よく教育委員会・教育長と相談したい。

- ・仕組みの中でもう一つ大事なことは、中学から高校に来るときに、どうやってプロ人材高校に入ってもらえる素地を作るか、環境を作るかということ。
- ・奨学金の話もとても大事。優秀な人を中に留めたい。普通科に通う高校生の3分の2は県外に出て行ってしまう。優秀な人材を、企業を絡めながら企業版ふるさと納税のような仕組みを考え、奨学金をうまく出していけると良い。